



ぶらり らいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 265

*利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。

【書名の後の () の数字は (請求記号 保管場所 資料番号) です。】

問) 防空壕の内部を撮った写真が掲載されている資料はあるか。

答) 検索端末でキーワード検索をしてみましょう。

詳細検索 ⇒ 防空壕 写真 ⇒ 230件ヒット

ヒットした件数が多いので、画面上部の「場所」には「開架」のチェックボックスを入れて検索条件を絞り込みます。32件ヒットしました。

資料の種類: 図書 雑誌 地図・海図 場所: 開架 閉架

開架とは、閲覧室にある書棚のことです。閉架は書庫を指します。

『写真でみる 太平洋戦争とくらし・道具事典』(210.75/W37/1 開架児童書 060005807)

『中野の戦災記録写真集』(213.6/To46 開架大型 000036375)

次はキーワードを追加してみましょう。以下は「閉架」のみチェックボックスを入れます。

詳細検索 ⇒ 防空壕 訓練 写真 ⇒ 38件ヒット

並べ替え: 出版年月順

並べ替え機能を選択し、検索結果一覧を並び替えることができます。

『東京大空襲秘録写真集』(210.75/176 閉架一般 000015661)

類義語を検索することでお探しの資料がヒットする場合があります。

詳細検索 ⇒ 待避所 写真 ⇒ 3件ヒット

『アサヒグラフに見る昭和の世相 5 (昭和17年-20年)』

(210.7/A82/5 閉架一般 000035292)

『図録「東京大空襲展」』(213.6/To46 閉架一般 000065781)



図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさん資料があります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。

ファッションショー・イン・ジャパン



洋装は、開国して日本に入ってきて以来上流階級のものとしてきましたが、時間をかけてあらゆる階層へ浸透していきました。洋装文化普及の一端を担ったのが「ファッションショー」であったそうです。

5月7日まで開催の特別企画展「時代をまとう女性たち」では、昭和13年(1938)に高島屋で行われた「グランドショウ」、今で言うファッションショーの広告が展示されています。ではいつ頃から「ファッションショー」という言葉が使われるのでしょうか。

[昭和]2年9月21日に、三越百貨店はファッション・ショーを開催した。フランスの婦人デザイナーを招き、水谷八重子らの女優をモデルに使った華やかなショーは、わが国最初のファッション・ショーである。 『日本婦人洋装史』吉川弘文館、1987

三越百貨店が最初だったようです。では三越の社史を確認してみましょう。

[昭和2年]9月21日(中略)なおこのショーでは、わが国で初めて「ファッションショウ」という言葉が使われている。 『株式会社三越85年』三越、1990

それまでも衣服発表会のような催事は行われていましたが、「ファッションショー」と最初に銘打ったのは三越百貨店だったのですね。

ちなみに冒頭で紹介した高島屋については『高島屋150年史』にて、昭和9年8月に婦人服部門を独立し、婦人服デザイナーのドロシー・エドガースによってファッションショーを開催したと記述がありました。

服飾学校であるドレスメーカー女学院もファッションショーの「初」を謳っています。

昭和10年11月創立10周年記念ファッション・ショウ」を日々谷公会堂で催す。わが国における洋服だけの本格的ショウの最初であり、超満員の大成功であった。

『杉野学園七十年史』杉野学園、1995

現在の公式サイト沿革では「これがわが国初の日本人による本格的なファッションショーであった。」としています。

ファッションショーが確立されていく様子が見えますね。

※引用内はすべて算用数字に改めました。[]内は補足追記です。

参考文献

- 『日本婦人洋装史』(383.15/N45 閉架一般 000024075)
- 『株式会社三越85年』(673/Mi64 地下書庫和図書 000035243)
- 『高島屋150年史』(673/Ta54 地下書庫和図書 000024631)
- 『杉野学園七十年史』(C377/Su42 地下書庫中公新社 080000326)
- 『ファッションインジャパン1945-2020』(383/Sh42 閉架一般 060008350)

× 特別企画展 ×
時代をまとう女性たち
会期:
令和5年3月11日(土)
~令和5年5月7日(日)
会場:昭和館3F ×

ぶらりらいぶらりい ~図書室にはこんな本があります~ NO. 265

2023年4月20日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1